

も	ど	ー	て	私	て	に	張	時	え	ロ	近	語	る	参	ア	あ	ー		
や	悲	本		た	く	な	っ	、	た	ナ	づ	を	は	加	へ	ー	あ	ー	
っ	し	当		ち	だ	な	っ	メン	末	ウ	い	勉	ず	が	の	私	あ	あ	
て	い	に		に	さ	っ	た	バ	の	イ	て	強	だ	決	語	は	あ	あ	
き	。	残		向	さ	っ	た	ー	判	ル	き	し	つ	ま	学	、	、		
た	。	念		か	つ	た	こ	み	断	ス	た	て	た	っ	研	今			
こ	も	で		っ	っ	た	と	ん	だ	の	一	き	た	て	修	年			
と	、	、		っ	当	。	が	な	っ	流	月	た	。	か	に	の			
は	今	悔		っ	の	。	、	が	。	行	に	。	し	ら	行	三			
、	ま	しく		っ	先	。	一	。	。	に	、	か	と	の	く	月			
絶	で	て		っ	生	。	瞬	。	。	よ	中	し	切	一	こ	に			
对	一	言葉		っ	も	。	で	。	。	る	止	、	磋	年	と	学			
に	年	に		っ	、	。	崩	。	。	、	が	段	琢	間	。	校			
無	間	でき		っ	涙	。	れ	。	。	安	々	と	磨	、	の				
駄	苦	ひん		っ	を	。	た	。	。	全	日	し	し	一	オ				
に	労	が		っ	流	。	よ	。	。	を	に	な	。	緒	ー				岡
は	し	ら		っ	し	。	う	。	。	第	ち	が	。	に	ス				か
し	な	ほ		っ	な	。	な	。	。	一	が	。	ら	参	ト				の
たら	が			っ	が	。	感	。	。	考	こ		英	加	ラ				ん
							覚							す	リ				

、

あかん。大学に進んだ時に、留学できる。まだまだチャンスはある。今回は本当に残念や  
ったけど、やってきたことに胸を張ったらい  
いし、自信を持って前に進もう。と、私たち  
に言った。私はそれからなかなか気持ちを切  
り替えることが出来ずに、悔しさがずっとあ  
った。  
学校が休校になり、家でテレビを見る時間  
も増えた。毎日のようにコロナウイルスのこ  
とについて報道される。今日の感染者は〇〇  
人、死者は〇〇人。私はそんな報道を見て、  
切り替えられずにいた自分が馬鹿らしくなっ  
た。コロナウイルスによって、あるはずの明  
日が奪われた人もいる中で、一度チャンスを  
逃したただけでクヨクヨしている場合ではない  
と思った。私は、自分を一歩前に進めるため  
に、大学への進学を今までよりも真剣に考え  
た。留学に行くことには以前から興味を持っ  
ていて、語学や国際関係学などにも興味があ  
った。そして、将来の目標は、外国で働くこと

思	間	が	い	進	上	う	こ	要		い	自	れ	目	張	っ	て	受	を	い
う	が	で	る	ん	に	な	と	な	世	る	分	ど	の	る	力	て	験	見	う
。	か	可	人	で	辛	思	だ	こ	界	。	を	、	前	力	努	す	つ	こ	
こ	か	き	も	い	い	い	と	と	が		大	次	が	に	力	る	け	と	
ん	か	る	い	る	思	を	私	は	同		き	の	真	な	な	、	先	だ	
な	か	よ	る	人	い	し	は	思	じ		く	ス	っ	っ	な	生	っ		
中	か	う	。	も	い	た	思	う	課		成	テ	白	た	中	や	た		
で	か	に	み	い	し	人	う	。	題		長	プ	に	こ	い	親	。		
、	か	な	ん	れ	て	も	。	世	を		さ	へ	な	と	る	と	そ		
先	か	る	な	ば	い	沢	界	中	合		せ	進	ら	。	の	も	の		
頭	か	ま	が	、	る	山	に	は	わ		て	も	い	中	目	何	目		
に	か	で	同	辛	人	い	は	、	せ		く	う	ら	止	標	度	標		
立	か	に	じ	い	も	る	は	私	て		れ	と	い	が	を	も	を		
っ	か	は	歩	思	沢	だ	、	と	前		る	し	悔	決	実	相	現		
て	か	、	幅	い	山	ろ	私	同	へ		材	し	し	ま	現	談	で		
手	か	と	で	を	い	う	と	じ	進		料	か	か	っ	可	を	き		
を	か	も	で	し	る	し	同	よ	ん		と	っ	っ	た	重	を	る		
引	か	長	は	続	。	、	じ		で		な	い	た	時	ね	大	大		
い	か	い	な	け	前	私	よ		い		っ	い	け	は	て	学	学		
て	か	時	い	て	に	以			く		て	け	、	、	頑	向	向		

いけるような人に私はなりたい。リーダーとなり、私たちをリードしている人達が報道さ  
れているのを見て、私は強くそう思った。  
先生に私の思いを伝えた時に、ある一冊の本を勧めてくださいました。国際公務員についての本だった。世界の最前線で、国際的な問題に立ち向かうことが凄く大変なことでありながら、やりがいのあることなんだと感じた。  
私はその本を読んで、国際連合での仕事や、外交官として働くことに、さらに強い希望を持った。今回のコロナウイルスの報道の時も度々WHOの会見を目にした。テドロス事務局長の言葉は、これは世界が手を取り合い解決すべき問題だということを感じさせてくれるものだった。  
私は将来、先頭に立って引っ張っていきけるような人になるために、大学に進学したら、様々なことに挑戦しようと思う。今の状況では、もしかしたら留学も難しくなるかもしれない。留学生が日本に来て、同じ教室で学ぶ

、。

ことも出来ないかもしれない。しかし、いつか一向かかって頑張ることに、本当の意味があることを私は知っている。そして、家族や学校、周りの人の支えがあつてこそ頑張ることがができる。大学に進学するには、決して安くはない費用もかかる。それでも、私を応援してくれる人がいることに感謝の気持ちを持ち続けて、頑張りたい。

最後に、一日でも早くコロナウイルスで辛い思いをする人がいなくなり、世界が共に前を向いて進んでいける日がくることを願つて私の思いとします。

、